

委員会活動 報告書

中国本部防災委員会

事業名称	薬師が丘連合町内会防災教育「自然災害と避難についてみんなで考えよう」
実施時期	2023年9月2日(土) 9:30~11:30
実施場所	広島市佐伯区薬師が丘団地第一集会所
参加者	薬師が丘連合町内会 54名 技術士会(講師): 山下、中井、香村、佛原、竹内、加藤、發田、乗安 8名
事業内容 と感想	<p>防災教育は技術士会中国本部と建設コンサルタンツ協会中国支部と共同で実施</p> <p>1. 自然災害で起こるもの 土砂災害(がけ崩れ、土石流)、河川災害(洪水、浸水)、高潮災害、地震災害について整理したものを、説明した。話の中で、クイズを取り入れて、わかりやすく説明することを心掛けた。土砂災害危険箇所は広島県が全国で一番多いことや、土石流の速度は、地形・勾配に左右されるため、速度が一定でないことや、浸水で泥水の中を移動する際の注意点などをクイズ形式で解説した。</p> <p>2. 警戒・避難について 雨の降り方と被害の関係、対象となる八幡小学校区のハザードマップの様子、指定緊急避難場所、マイタイムラインの作成方法を説明した。</p> <p>3. マイタイムラインとハザードマップの作成 演習として、参加された方々が6つの地域に分かれて、ハザードマップによる危険箇所の確認と、マイタイムラインの作成演習を行った。薬師が丘連合町内会は、一部急傾斜地危険箇所があるものの、災害の不安がそれほどない地域であったが、熱心に作業された。自分の家と地域の安全性についての話や、避難する場合の避難場所についても、集会所を開ける基準などの意見も議論された。避難する準備するも、家族や子供がいる場合での違いがあることが分かった。また、防災の関係者は連合町内会への連絡網のことも触れられ、防災の関心が高いことがうかがわれた。これまでの被害としては、台風により屋根の瓦が飛んだり、シートをかけたりするなどの被害があったことや、五日市断層が近くを通っていることから、地震に対する不安もある様子であった。</p> <p>アンケートは、事前にアンケートの話をしていなかったことや時間が押していたが、38名から回答をいただいた。</p> <p>アンケート結果、講演内容は大体わかったようで、内容量もちょうどよいとの回答であった。最近災害が起こりそうだと感じたことは、台風、大雨、地震とそれぞれに感じるようであった。避難については、避難場所や避難路。避難情報についても理解が深まったようである。</p> <p>感想等について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識は必要と思います。改めて考える機会になりました。 ・災害に対する知識を再認識できた。 ・自宅の安全性を再確認できました。防災意識が高まったと思います。 ・薬師が丘の中で避難所所の充実が必要と考えます。 ・グループ討議がよかった。 ・グループで話しあったりして分かりやすかったです。 ・今日はありがとうございました。早速園でどのように子供たちを守っていけるか、地域の方々と協力する方法等を話し合いたいと思います。タイムラインも活用させていただきます。 ・大雨、強風が発生した場合、薬師が丘団地内ではどういう風になるかシミュレーションしてもらえば? ・どのように避難するかを詳しく話したほうが、今後のためだと感じた。いろいろな意見をいただきましたので、今後の参考にしたいと思います。



自然災害についての説明の様子



マイタイムライン・ハザードマップ作成状況



マイタイムライン発表と意見交換



マイタイムライン発表と意見交換 2